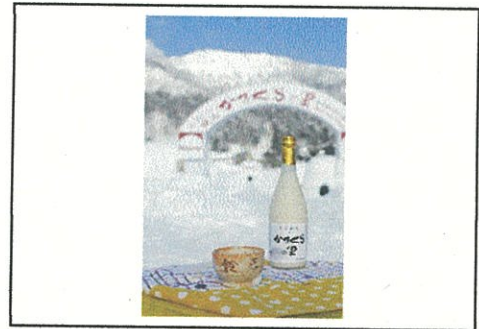


平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	かまぐらの里どぶろく事業
事業主体 (連絡先)	かまぐら祭り実行委員会 (飯山市外様地区活性化センター 電話 0269-62-1029)
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,492,831 円 (うち支援金: 1,341,000 円)

事業内容

- ①どぶろく製造場の設置
既存の不用の車庫を解体し、部材を再利用してどぶろく製造場を設けた。
- ②どぶろく製造機器等の整備
どぶろく製造に必要な機器等を整備した。
- ③どぶろくの提供
名称 どぶろく・かまぐらの里
規格 720ml 2,000円
飯山市外様地区内のかまぐらの里で展開するレストランかまぐら村やかまぐら祭りへの来場者を中心に、製造したどぶろくを提供した。



どぶろく・かまぐらの里

【目標・ねらい】

- ①レストランかまぐら村の利用者の増加
- ②かまぐら応援隊や地域住民の士気の高揚

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①レストランかまぐら村の利用者の増加
平成30年度については、対平成29年度比5%増を目標に設定したところ、マスコミ報道や情報発信の効果もあり、レストランかまぐら村の利用者は外国人も含め約5,100人となり、対前年度比30%増に達した。
- ②かまぐら応援隊や地域住民の士気の高揚
かまぐらの製作や維持管理にあたるかまぐら応援隊をはじめ地元では、どぶろくというかまぐらの里の新たなセールスポイントを得たことで、交流人口の増加に向けてさらに士気が高まった。

※自己評価【A】

【理由】

どぶろくは評判がよく、地域の新たな資源となり、かまぐらを訪れる方々との交流のきっかけとなり、地域住民の大いなる親睦・誇りも醸成した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今や飯山市を代表する地域の冬の風物詩ともなったかまぐらの里の魅力の一つにどぶろくを加え、かまぐらの里を内外に情報発信し、交流人口の増加に努めるとともに、定住者の地域への愛着を一層深めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある